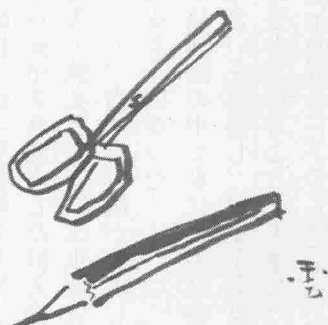


僕は北朝鮮が嫌いではない。しかし「先軍」は嫌いだ。北朝鮮が早く「先軍」を捨てて、「先民」の道を選択すべきだと思っている。「先民」の「民」はまず「民衆」であり「民生」である。軍事優先政策を民衆本位の民生優先の政策に転換すべきだ。次のステップは「民族」だ。韓国との共存共栄の道を歩み、平和統一を目指してほしい。そして、その民衆、民族を大切にすることは「民主主義」へ向かう道につながると思う。

長く北朝鮮を研究対象にしてきた中で、北朝鮮の内部でいろいろと悩んでいる人たちがいることも知った。北朝鮮内部にも様々な矛盾に苦しみ、何とかしなければと思っている人たちが存在することは日本の人たちにも知ってほしい。

(ひらい・ひさし/ジャーナリスト)



民主主義のもとで民主主義を殺さぬために —「有権者」と認められない「市民」として

玄 香実

「私は、この国は今、ワイマール共和国時代に似てきていると思う。民主的なワイマール憲法のもとで共和制を破壊し、ナチが『第三帝国』を樹立した。その過程を思い起こしてほしい。：議会の多数決を得て全権委任法を成立させワイマール体制を崩した。民主主義のもとで民主主義を殺したんです。」(小田実最後のインタビュー、『世界』2007年8月号)

6年前の第一次安倍政権下で国民投票法や教育基本法成立時の日本の空気を「戦前」のようにだと憂え、日本の未来を危惧するこの言葉は、小田さんの予測通り現実化しようとしている。

憲法改正のための96条も、国会議員の3分の2の多数決を2分の1にするという。しかも、国民投票の最低投票率も定めていない。都議選での40数%の低投票率、過半数ぎりぎりでの投票で改憲勢力が過半数の議席を取った参議院選挙の結果を見て、「1票の行使」ができない在日外国人である私はもどかさばかりが募った。

私が自民党の憲法改正案で注目し、危惧しているのは、第93条の地方公共団体の長、そ

の議会の議員を選挙することについて、現行憲法の「その地方公共団体の住民が、直接選挙する」から「日本国籍を有するものが直接選挙する」(自民党憲法草案94条2項)へと変わっていることである。

永住外国人の地方参政権を法的に除外することは、朝鮮を植民地化した結果の犠牲者として日本に住む在日コリアンである私達に民主主義を行使させないということだ。

東日本大震災から約2年半、遅々として進まない被災地の復興、「棄民」とされ故郷へ戻れない被災者。福島原発の放射能汚染の現状は、阪神大震災後の「市民」も「街」も置き去りにした当時の復興と重なる。

被災者への公的支援を求める市民議員立法推進本部東京事務局長として、デモ、集会、国会ロビー活動を夢中でしていた私は、「被災者生活支援法」成立へ向けてのプロセスの中で、民主主義(デモクラシー)というものは、陳情ではなく、一つ一つ市民が提案して動き、議員へ働きかけ、創り上げていくものだと痛感した。

当時、衆議院から提出されていた阪神・淡

路大震災被災者にのみ波及する時限立法は廃案となり、市民議員立法「災害被災者等支援法」は参議院から提出され成立した恒久法であり、東日本大震災被災者には「改正被災者再建支援法」として、当初市民側が要求した金額が補償されるようになった。

3年間の市民立法運動の中で私は日本社会の民主主義の意味合いを体感し、民主主義は市民によってのみ生かされることを実感した。この国が戦後68年間享受してきた「平和」

とは、「民主主義」とは何だったのか。選挙の結果から日本の良識が問われる。これ以上民主主義のもとで民主主義が殺されないためにも。

(ヒョン・ヒャンシル / ASUKA塾主宰、小田実文学と市民運動を語り考える会)

小田実没後6年シンポジウム 民主主義を殺さぬために！

—いま、小田実の文学と市民運動を考える—

2013年10月12日(土) 12:30開場 13:00—17:00

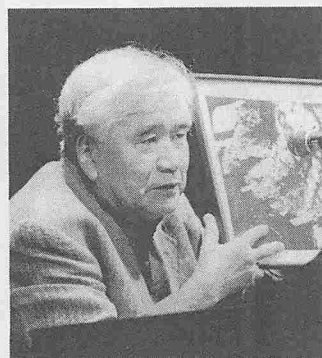
YMCA アジア青少年センタースペースY文化ホール

資料代 ¥1000 (千代田区猿樂町、JR/地下鉄水道橋駅下車)

講演者 司会 宮田稔栄 (エッセイスト)

荒 このみ あらこのみ 東京外国語大学名誉教授、立命館大学客員教授
「小田実の長い旅」

玄 順恵 ひよん すんひえ 水墨画家 他



DVD&ブックレットのご案内

ブックレット

小田実のデモクラシーと希望

「小田実生誕80年、没後5年」 俳句会記録集

定価：¥1,000

発行：「小田実さんの文学と市民運動」を語り考える会

編集・制作・申し込み：株式会社大月書店

〒113-0033 東京都文京区本郷2-11-9 TEL 03-3813-4651

FAX 03-3813-4656

DVD

あなたを喚ぶその魂は

姜惠淑舞踊団「従軍慰安婦」創作舞踊 日本公演 DVD

定価：¥2,500

企画・制作：「中心21」(代表 小田実)

申し込み：小田実文学と市民運動を考える会

TEL 090-3434-7676

1995年、当時の日本政府が従軍慰安婦へ補償を「民間基金」
であいまいに済ませようとしたことに抗議し、「アジア女性
基金」を発足させた日、中心21(代表：小田実)の招待
によって実現した日本公演のDVD

主催 小田実没後6年シンポジウム実行委員会

連絡先：コミュニティレストラン「木・木」

東京都西東京市保谷町6-25-1 Tel&Fax 042-425-6800

小田実文学と市民運動を考える会 TEL 090-3434-7676

